

つどう・まなぶ・むすぶ
相 思 樹



那覇市中央公民館　　那覇市寄宮 1－2－15　　TEL　098－917－3442　　FAX　098－835－4707

★夏休み・みんなの居場所★

①ニュースポーツ体験　　7/21（火）







幼児から中学生までの友だち同士や家族、近隣の学童など 35 名と一般参加者 17 名、合計 52 名がホールに集まり、ワナゲ、ラダーゲッター、ボッチャ、ソフトバレー、デッキスティックゲーム、ディスクゲッターなどを体験しました。
参加した小学 2 年生からは「とても楽しかったが、大きい子向けのゲームももっと欲しい」という声がありました。一方、保護者からは「暑い夏に室内で体を動かせて助かる」「ゲームを教えてくださる方々が積極的に関わってくれたので、子どもたちもルールを理解して楽しめた」との感想が寄せられました。



②お習字教室　　7/22（水）











今年も沖縄尚学書道部の生徒 13 名が指導者としてボランティア参加し、受講生 16 名を支えました。初めての子、毎回楽しみに来る子も和やかな雰囲気で半紙に向かい、集中力が切れた子には指導の生徒が優しく声をかけるなど、温かな交流がありました。最後にみんなで記念撮影、子どもたちは短時間で文字が上達したことを誇らしげにしていました。参加者全員の成長が実感できた講座となりました。



③ピアノとフルートの七夕コンサート　　7/23（木）







２部構成で開催されたコンサートには、総勢約 250 人が参加しました。
１部は近隣の保育園やこども園の園児たちが、２部では地域の方々が集いました。ピアノとフルートの生演奏を、０歳児を連れた保護者から高齢者まで幅広い世代が楽しみました。園児たちはリズムに合わせて踊り、それぞれ音楽を満喫。参加者からは「赤ちゃん連れでコンサートを聴く機会がこれまでなかったので嬉しく思いました」との声もあり、温かい地域交流の場となりました。

④スポーツスタッキング　　7/28（火）





2024 年、14 歳で世界チャンピオンとなった久場雄真人選手が講師を務め、16 名の児童が参加しました。ほとんどが初挑戦でしたが、練習を重ねるうちにスピードが上がり、「めっちゃ楽しい」「家でも練習したい」と好評でした。講師はスポーツスタッキングの普及に努めており、親しみやすい指導で児童たちの成長が感じられる充実した講座となりました。

（「夏休み・みんなの居場所」１面からのつづき）






⑤絵画教室　8/2（日）

絵画教室には 15 名が参加し、初めてのモダンテクニックを体験しました。ハブラシや紐、ビー玉、輪ゴムなどさまざまな道具を使い多彩な表現方法で絵を描きました。参加者からは「ドリッピングするところが楽しかった」「ビー玉コロコロが面白い」「ハブラシではじくところが好き」との声がありました。作品は同じ綿棒で作ったスタンプでも花や肉球に見えるなど、それぞれの個性が表れました。アートにふれる３時間はあっという間で、自由な発想で創作する喜びを感じられた充実の教室でした。



⑥飛ぶ昆虫の工作・蝶々を作ろう　8/5（水）




参加した 20 名の児童生徒の中には、インスタグラムを見て参加した子どもや近隣の児童デイに通う子どもたちが集まりました。講師は元校長先生の喜瀬乗英さんで、自ら作成した材料を準備して提供してくださいました。少し難しい内容でしたが、「蝶々を飛ばすのが楽しい」「羽を選ぶのが好き」「作るところに夢中になった」との声がありました。うまく飛ばない子もいましたが、高く飛んだときには驚きと喜びの声が上がり、充実した時間となりました。



⑦ドッヂビー　8/12（水）



幼児３名、小学生２１名、中学生１名、高校生２名の参加がありました。最初にスポーツ推進委員の方からルール説明を受けた後、２列に並び向かい合ってフリスビーを投げる時の姿勢と投げ方の練習をしました。その後チーム分けとチーム名を決め、試合開始のホイッスルが鳴り響くと、先行チームがスピード感たっぷりにフリスビーを投げると、相手チームは飛び跳ねてフリスビーをキャッチしていました。フリスビーを取る・投げるの繰り返しの試合運びに、周囲の応援も熱を帯びていき、コート内で選手の体に当たると点数が入るので、歓喜の声や唸り声等がホールに響きわたり、計７試合行いました。「またドッヂビーやりたい！鬼ごっこやかくれんぼもやりたい」という声が多く聞かれました。高校生の参加者がムードメーカー的役割で場を盛り上げてくれたことに感謝です。




⑧自由に遊ぼう　8/19（水）




「自由に遊ぼう」では、中学生までの児童生徒１０名がホールに集まり、卓球やバドミントン、鬼ごっこ、かくれんぼなど思い思いに遊びを楽しみました。それぞれが自由に体を動かし、笑顔あふれる時間となりました。アンケートでは「動物を連れてきて一緒に遊びたい」という新たな希望も寄せられ、子どもたちの自由な発想と好奇心が感じられました。遊びを通じて交流や成長を促す、大切なひとときとなりました。






★講座・事業報告★

読み聞かせボランティア養成講座（入門編）　6/21（日）～7/14（火）全4回





全４回の日程で行われた本講座では、計 16 名の方が無事修了することができました。絵本の選び方や持ち方の基礎や小道具作りについて学び、受講生同士で読み合い練習などを行いました。講座の最終日には、みやぎ原保育園に出向き、受講生全員で実践的なお話し会をしました。

お話し会初挑戦の受講生が多い中、園児たちの素直な反応がお話し会の励みとなりました。受講生からは「座学だけではなく、実際に読み聞かせを体験できたことがよかった」「読み聞かせの技術や絵本の魅力を深く学べた」と好評の声が多く寄せられました。

ちゃーがんじゅうはみんなの願い！　6/24（水）







本講座には９名が参加し、講師は嘉手納一彦氏（那覇市口腔保健支援センター歯科医師）と宮里美香氏（那覇市保健所健康増進課管理栄養士）が務めました。嘉手納先生からはオーラルフレイルの主な予防法、宮里さんからはフレイルを予防する食事について講話があり、受講生からは「日々の生活に有意義な講座でした」との声がありました。最後に嘉手納先生より、受講生へ口腔・呼吸訓練用のオーラルフレイル予防グッズ『長息生活』＊右写真（ネット通販のみ）がプレゼントされました。受講生の皆さんはラッキーでしたね。

もしもの時の備え×パートナーとのリラックスタイム　6/28（日）





２グループに分かれて、応急手当とハンドマッサージを行いました。ハンドマッサージの場面では、お互いに向かい合って会話をしながら笑顔でマッサージをしている姿にほっこりしました。パートナーと二人だけのゆったりとした時間を過ごせている様子がうかがえました。受講生からは「幼児の救急について網羅された講座で充実していた。実際に救命の対応ができ、より記憶に残った」「実践できるのがとても良かった。いざという時の知識をつけられた。託児付きも助かる」との声が聞かれました。多くの方から「実技があることで理解が深まり、いざという時に備えた知識を身につけられた」との感想があり、座学だけでは得られない貴重な学びの機会となりました。参加者は８組１５名でした。

夏休みのお昼ご飯を自分で作って食べよう！小学生の料理教室　7/26（日）





講師は石原昌明氏（沖縄県日本調理技能士会会長）が務めました。参加者は１９名で、１グループ５名の４グループに分かれて、「ちらし寿司」「かきたま汁」「だし巻き卵」の３品を調理しました。講師の説明を真剣に聞く子や、早く作りたくてうずうずしている子、初めてのメンバーともコミュニケーションを取りながら作業に取り組む子など、それぞれの様子が見られました。「家の人に作って食べさせたい」という声が多く、「卵を巻くところが難しかった」「料理を自分で初めて作った」「みんなで作って楽しかった」との感想もあり、普段できない体験と夏休みの思い出になりました。

安全な那覇ライフ！外国人留学生向け交通ルール講座

～Naha Safe Ride & Walk: Traffic Rules for International Students～

7/31（金）



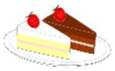


那覇警察署の講師を招き、日本語学校の留学生向けに講話を実施しました。午前・午後の２部制で 160 人以上が参加し、「交通ルールについてよくわかった」「日本の生活ルールについても知りたい」との声がありました。内容は分かりやすく、必要な交通ルールを詳しく説明し、先生の話し方も丁寧で理解しやすかったと好評でした。地域社会の一員として安全に暮らすため、緊急時にも冷静に対応する力を育む取り組みを行い、那覇警察署との連携で多文化共生社会の形成についても学びました。

泡盛の蒸留粕カシジェーの世界を旅しよう

9/5（土）





公民館を飛び出し、本講座は栄町市場の COFFEE potohoto の２階で青年講座として開催されました。参加者は６名で、一般社団法人カシジェーアンバサダー協会代表理事の田中えりさんが講師を務めました。カシジェーはクエン酸やアミノ酸が豊富に含まれる食品で、琉球王国時代には養生食として国王も召し上がっていたといいます。泡盛づくりの過程で出るカシジェーは豚のエサにもなり、講師がカシジェーと出会った経緯や歴史の話に、受講生は初めて聞く「カシジェー」の世界に引き込まれていました。カシジェーを使ったコーヒーと lavie.cake.patisserie のケーキをいただきながら講話が行われました。９月のおはよう栄町市場では「カシジェー」を使った料理等を提供する店もあり、新たな価値をつけて生まれ変わるアップサイクルについても注目が集まりそうです。

さくらルーム

9/1・15、10/6・20（全て火曜日）





地域連携事業さくらルーム「スマホ教室」は、第１・３火曜日に定例開催しておりますが、講師の都合で日程が変更になる場合もあります。参加者は平均１０名で、ほとんどが近隣住民です。昨年９月に開始して以来、顔なじみが増え、自分のスマートフォンの使い方でわからないことを教え合う姿が見られます。隣の人の説明を真剣に聞き、終了間際まで熱心に学ぶ参加者もいます。受講生の中には「一歩進んで二歩下がってるさ～」が口癖の方もいますが、周囲に教えている姿からアウトプットできていることがうかがえます。次回は 11/10・24、12/1・22 の開催予定で、興味のある方は公民館までお問い合わせください。

地域交流会「昭和歌謡を歌う」

7/14（火）







中央公民館でサークル活動をしている「ギターでうたごえ in 中公」の講師、糸数剛氏に依頼し、近隣の宮城区自治公民館で地域住民との交流会として「昭和歌謡を歌う」イベントを開催しました。計 22 名の参加者があり、『青い山脈』『この世の花』『上を向いて歩こう』など 20 曲を全員で歌いました。シニアの参加者は楽しみながらハツラツと歌い、若い世代からは初めて聴く曲も多かったものの、「楽しかったのでまた開催してほしい」と嬉しい声が寄せられました。

編集後記　暦の上ではもう秋の季節ですが、日中はまだまだ暑い日が続いています。皆さまも体調を崩さないよう、くれぐれもご自愛ください。中央公民館は、子どもから高齢者まで、地域住民の学びや健康づくり、地域交流の拠点となる施設です。市民のみなさまの来館を心よりお待ちしています。